

令和6年度

信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会

信州大学教育学部附属長野中学校1学年（繊維チーム）への質問・感想

- ・ 繊維は昔からどのように再利用できるかということを議論されてきましたが、まだまだ課題が多いと思われることが多いです。繊維を再利用するには技術などが必要であるため、このような難しい問題に取り組んでいることがすごいなと感じました。
- ・ 古着、課題がたくさんあることを考えていた。それは地域や人の一生ついてまわる課題に取り組むことで深い学びになっていたと思う。実践は身についたまなびにつながる。
- ・ 繊維の無駄を降らすために3Rを考えてバザーに出すなどの取り組みをしたことがわかりました。繊維が環境に影響を及ぼしていることがわかりましたが、具体的にどのような影響や負荷があるのかももっと知りたいです。
- ・ 服を自分たちで回収して再利用する活動を通して、社会貢献に参加したという事実が大切だと感じました。服の再利用はもっといろいろなことができると思うのでこれからもそのテーマで総合の学習を続けていって欲しいと思うと同時に、その結果が楽しみです。
- ・ 古着・古布も素材がさまざまであるので、衣服などが環境負荷を高めることには意識が向きにくいと思いますが、そのようなことにも気づく視点がいいなと思いました。この鋭い視点を発信することが今後より重要になると思うので、学校外の人にも環境負荷の視点を広めていけるとよりよい活動になると思いました。
- ・ 繊維が環境に及ぼす影響、というのは、普段生きているだけでは、認知しにくい課題だと思います。さらに広めていくためにも、どの程度人々が繊維について課題意識を持っているのか、そもそも附中の友達でさえ、繊維が及ぼす影響を知っているのか、知る必要があると思いました。そこで、ターゲットを絞っていくという活動で、もっと環境保全をしていく波が広がっていくと思いました。
- ・ 繊維は環境負荷が大きいですよね。やはりこれも手作りで行くと時間がかかりますよね。またリユースは、やはり気を使う人も多いです。（新品でなければ買わない人もいる）この探究を授業として続けない場合でも、考えていかなければならない問題です。
- ・ 自分たちで問いを見つけて課題を自ら解決しようとする姿勢が、これから社会に出るうえですごく大切な経験になると思うので、大切にしてほしいです。
- ・ 素敵な発表ありがとうございました。繊維の環境に対する負荷を減らすために何ができるかを調べ、これからの活動を進めていこうとする様子が伝わってきました。
- ・ 素敵な発表ありがとうございました。捨てられる繊維が環境に与える影響を調べ、どうすればその影響を少なくすることが出来るか、身近な範囲で自分にもできることは何かを考えて、現実的な解決策を実行している点が素晴らしいと思いました。3Rを意識した生活・活動を行うことが、身近で私たちもすぐにできる社会貢献なのだろうなと思いました。
- ・ 繊維が及ぼす環境への影響を調べ、自分たちの力で何ができるかを考え、できることをたくさんの試行錯誤をして、実際に作成している姿に感銘を受けました。繊維が及ぼす環境への影響について、身近にあるにもかかわらず、意外とわからない、知らない人がいると思うので、地域の方々を中心に広く知らせることに重要性を感じました。今回の活動を通して得た知見を、今後の学習にも活かしてってください。
- ・ 生分解プラスチックを作っていくプロジェクトでは、失敗を重ねながら、成功まで頑張るという流れが、途中であきらめずに挑戦し続けた賜物だと感じました。私がこれまで見てきたなかでも、失敗の原因を考え克服できた例はあまり見てこなかったし、それができたみなさんはどのようなプロジェクトでもこなせそうだと感じていました。
- ・ 中学生くらいの頃は体がどんどん大きくなっていくので服がすぐに着れなくなってしまい、捨てるしかないということになっていったと思います。でもそれがとても環境に良くないことをしていたんだと気づくことができました。自分にできることを考えて、繊維の再利用を今からでもできるようにしたいなと思いました。
- ・ 古着を別のものに変身させ、それを校内でやり取りすることは、活動をやっていない人にも繊維が与える環境への影響を考えさせる機会にもなってとてもいいなと思いました。衣服は生活と切っても切り離せないものになっていますが、だからこそ、それを考えることは環境を考えることに直結するなと思います。そのため、これが一度だけで終わってしまうのはもったいないなとも思います。どうしたら継続的な活動につながるのか、この方法でもいいし別の方法でもいいのですが、“継続的な取り組み”に焦点を当てて考えてみることも必要かなと思いました。
- ・ 発表ありがとうございました。自ら問いを立て、その解決に向けて精力的に活動されている様子が伝わってきました。繊維は衣類やプラスチック類など、私たちの生活に深く結びついている存在であり、それ故に、どのような問題を内包しているのかを見落としがちになってしまうのかなぁと思います。そのような「当たり前の存在」に着目し、社会への影響や課題を見出す姿勢は素晴らしいものであり、私も見習うべき姿勢だと感じました。また、バザーで販売するという手法は、繊維の問題について認知してもらうきっかけになったと思いますので、今後も継続的に活動していただけたらと思います。

- ・ 信州大学教育学部附属長野中学校1学年（繊維チーム）のみなさま、素敵な発表をありがとうございました！私は、こんなにもたくさんのリユース手段があるなんて知らずに、いつも知らず知らずのうちに無駄にできてしまっていたのだと今回の発表を聞かせていただいて、痛感しました。でも、今回発表してくださったおかげで少なくとも私は気づくことができ、これから生かしていきたいと思いました。私のように気づき学ぶひとがこれからもたくさんいると思います。大切なことに気付かせていただき、とても良い学びとなりました。本当にありがとうございました！
- ・ 信州大学教育学部附属長野中学校1学年、繊維チームの皆さん、素敵な発表をありがとうございました。皆さんの発表では、繊維が環境に及ぼす影響や、環境への負担を少なくするためにどうするのが良いかがよく伝わってきました。バザーを通して、リメイクしたものを販売することで、洋服を直接処分せずにご利用していくのが、環境にもとてもやさしいなと感じました。実際に環境にも良い影響があるうえ、小物を購入する楽しみや、作り出す喜びなど、多方面に良い影響があるということがわかりました。フードロスチームの皆さんの発表の中でもあったように、リメイク品を販売することで、「リメイク」や再利用に関心をもつ人も増え、そこに対する意識も高まるといった相乗効果もあるのだと感じました。こういった取り組みが少しずつ環境に与える負担も軽減していくことにつながるということが皆さんの発表を通してよく伝わってきました。このような取り組みが、持続可能な社会の実現に結びついているということを改めて考えるきっかけとなりました。ありがとうございました。
- ・ バザーを通して環境保全について、身近な社会貢献、3Rなど幅広いことを知ることが出来たことから、バザーの可能性について考えることが出来ました。
- ・ 発表してくださった2人とも、自分たちで行った活動をバザーを通して、様々な人に広めている点が素晴らしいと感じました。「協力して物事を進めることの難しさ」は、大人になった今でもとても感じます。それを感じる事が出来たことは、これからの社会生活の中でとても役になってくるのではないかと思います。ぜひ今年学んだことを活かしながら、来年度以降もより「環境と繊維の関係」について考え続けていってほしいと思いました。発表ありがとうございました！
- ・ 繊維が及ぼす環境への影響について知った。バザーで売ったものがすべて完売していてすごいと思った。環境保全や身近な社会貢献を達成できていてとてもすごいと感じた。
- ・ 服は自分が着れなくなったら多くのものが捨てられてしまうと思う。昨今は古着ブームというものもあり、再利用の価値が高まっていると思う。バザーのように服を売ったり、自分たちでリメイクしなおしたりしてロスを減らすことができると思う
- ・ 「繊維が及ぼす環境への影響」という大きなテーマに対して、バザーでの出品や廃棄衣服の再利用など、具体的な行動を起こしている点がとても良かったと思いました。繊維が環境に与える負荷を減らすために、ただ調査するだけでなく、実際に不要な衣服を集めて活用するというアプローチが素晴らしいと感じました。本来捨てられるはずのものを再利用することで、新たな価値を生み出すというSDGsの観点にもつながる取り組みでした。今後も、環境問題について発信しながら、より多くの人が繊維のリサイクルに関心を持てるような活動を続けてほしいと思いました。
- ・ 繊維の活動は、大学に繊維学部がある信大付属中ならではだなどと感じました。バザーに出店する際の大変さ、そしてさまざまなものをただ販売するだけでなく活動の経緯を説明したり活動を知ってもらえるという成果が得られて良かったなと思いました
- ・ 自分たちの分野を活かして環境に寄与する規制に感銘を受けました。バザーを開いたりするなど、活動力の強さにとても驚きました。今回詰んだ経験や皆さんが持っている行動力を活かして、これから様々な活動に取り組んでほしいと思います。
- ・ 繊維が及ぼす環境への影響を初めて知りました。バザーで身近な社会貢献を達成できたということで、繊維チームの活動から繊維への考え方を改めた人もいるのではないかと思います。また、発表スライドがとても読みやすく、興味の引くものでし
- ・ 問いをたてた理由も話しており、知りたいと思っていることが分かりやすくてよかった。環境負荷を減らすためにいろいろな方法があるというところは具体的にどのような方法があるのか知りたかった。
- ・ 実際に小学校の声を聴いて対応を臨機応変に対応している点がよいと思った。また、問いと示した後に活動の後に問いの答えを提示していてとても良かった。
- ・ 活動を客観的に振り返ることができて、このことが、結果的に次のステップになっているように感じます。また、最後の「歩みを止めない」という言葉は、探究活動に対して主体的に取り組んでいる姿勢そのものだと思います。これからも頑張ってください。
- ・ 当初の案であった小学生を対象とした古着譲渡が不可能であると分かった後に諦めたりするのではなく、古着活用に方向転換をすぐに行うことができているのは凄いと思いました。今後も意気込みの通り活動を頑張って貰えたら良いなと思います。
- ・ 古着などを使った活動はいろんなことができそうだなと思いました。パッチワークで柄のシャツとかデニムのリメイク版とか作ってくれたらめちゃくちゃ買いに行きたいです。頑張ってください。
- ・ 環境へ影響を与えているものとして、繊維に着目をしたことが非常に興味深く、面白いものだと実感しました。また、それらのことをバザーを通して様々な人に広めるということで様々な利点が生まれる活動だと思いました。
- ・ 今回の発表を聞いて私は、繊維が与える環境への被害などを広める方法がいいと思った。バザーで実際にリユースなどを行った物品を売ることによって利益にもなる上、物品が購入者の手元にも残るためそれを手にするたびに繊維の環境に与える被害などを考えるきっかけになるため自足的に考えてもらえるいい方法であると感じた。
- ・ 自分たちでできる環境保全に関する対策として、繊維について目をつけ古着や古布の作り変えをする発想は、私自身になかったもので面白いと思いました。バザーなど実際に大きな活動に取り組むことで、その活動を広めることにもつながりと思われるので良い取り組みであったのではないのでしょうか。

- ・ 計画を立てて準備をし、取り組みを経て成果からフィードバックをするという合理的な活動の流れになっていてとても分かりやすいなと感じました。さらに、自分たちで設定した間に適した活動を行うことで成果を実感できていることがわかりとても良いと思いました。これからも頑張ってください。
- ・ 私たちが普段身につけている衣類など、特に人工的な繊維が及ぼす環境への負荷が大きいという問題について認識し、解決策を考えることが必要であると思いました。私も関わっている身近な課題であり、できることから解決方法を考え、実行していきたいと思いました。
- ・ 「身近な社会貢献」から大きなくくりでの社会貢献をすることに繋がると感じるため、今後につながっていくのではないかと感じました。今回の一度だけ伝はなくさらに活動が広がっていくことを願っています。これからも応援しています。
- ・ 繊維が環境に与える、大きな負荷について自分たちで課題として決めて、まとめて発表を行っていてすごいとおもいました。また、スライドもイラストを用いて工夫されていて見やすいスライドだなというように考えました。
- ・ バザーにおいて自分たちの活動の成果を地域の人たちにも伝えることができていて、様々な形で社会貢献ができていると感じられて、これまでの成果を基にこれからもたくさんの活動が広がっていくと考えられるとても素晴らしい内容だったと思いました。
- ・ 繊維が及ぼす環境への影響という問いから始まり、自分でできる環境保全について考える機会や、人々にも繊維が環境へ及ぼす影響について知ってもらう機会があったことで、活動した生徒の方だけではなく、周りの方々にも環境保全の意識を高めることに成功したのではないかと思う。
- ・ 繊維と環境問題が関係していることが分かりました。自分たちができることを考え、実践していて行動力があると思いました。バザーなどで、再利用できれば、捨てる洋服も減り、環境への負荷も小さくなることが理解できました。
- ・ 世界中の問題である地球環境に対して、身近でできることは思った以上に思いつかなかったり、思いついても実際に行動に移すことは難しいことである中、自分たちにできる環境保全をしていて強く感動しました。資金集めや古着集め、買い出し、製作、販売すべて自分たちで行っていてすごいと思いました。私も身近な社会貢献をしていきたいです。
- ・ 繊維が環境に影響を及ぼすということに視点を置くのが素晴らしいと思った。資金を自分たちで集めるところから始めていて自分たちの手で環境への負荷を減らそうとしている点が良いと思った。バザーを行うことで、探究している自分たち以外の人にも繊維の環境への負荷を考えることができるので良いと思った。
- ・ 環境負荷を考えていることがすごいと思った。身の回りでできる環境保全をしようという考え方が私にはなかったからまねをしてみたいと思った。資金を自分たちで集めていたところが大人になってからの活動にも生かすことができそうで素晴らしいと思った。
- ・ スライドがとても見やすく、アニメーションも取り入れているので聞き手側も飽きずに見ることができました。「繊維」というすこし難しいテーマではありましたが、古着を回収して販売するなど自分たちにできる方法を模索していることがとても今後の生活に活きると思うので今後も頑張ってください！
- ・ 実際にバザーで売るという活動をしていて素敵だと思いました。これからも頑張ってください！
- ・ 身近な問題を解決すると同時に社会貢献にもつなげられていることがすごいと思いました。また、探求をして終わりではなく、今後まで考えている点が素晴らしいと思いました。
- ・ スライドが簡潔で見やすかったです。自身で問いを見つけ、その解決策を自ら模索できていて素晴らしいと思いました。自分で行った活動を実りあるものにできるかは人によるが、それができていると思いました。学んだこと、考えたことを発表できていました。また、ここで学びを止めずにこれからも探求したいって欲しいと思います。
- ・ 活動してきたことを自分の生活に活かすだけでなく、周りの人に広めることでより環境を良くすることができるだろうと思いました。それこそ身近な社会貢献だし、身近なところから広い活動にしていけるのが良いと思いました。
- ・ 自分たちにできることしっかりと考えられていて上手に発表ができていてとても素晴らしいと思った。環境についてしっかり考えることができていて、これからも学ぶ姿勢をもって学ぶことを行い続けていってほしいと思う。
- ・ 試行錯誤の結果を振り返り、課題点を見つけることは更に良い解決方法の模索に役立つため、良いことだと考えた。結果ばかりに注目してしまうことが多いが、改善点に素直に向き合う力はあらゆる活動に取り入れることができると考えた。
- ・ 附属長野中学校の繊維チームの活動は、非常に素晴らしい取り組みだと思いました。環境保全に対する意識を高めるとともに、実際に行動に移すことができた点が特に印象的でした。小学生を対象にしたプロジェクトで、古着や古布を利用したもののづくりを通じて、持続可能な社会の実現に向けた第一歩を踏み出したことは、非常に意義があると感じます。特に、バザーでの販売は単なる資金集めに留まらず、地域の人々に環境問題に対する関心を促し、自分たちの活動を広める良い機会になると思います。このようなコミュニティとのつながりを大事にすることは、社会貢献の一環としてとても重要だと感じます。また、活動を通じて「繊維が環境に及ぼす影響」や「3R」の重要性を学んだことは、今後の生活や学びにも大いに活かすことが出来ると思います。これからも、チームの皆さんが持つ熱意を持って、持続可能な社会を目指していく姿勢を応援したいと思

- ・ 附属長野中学校1年生の繊維チームの皆さんは、繊維が及ぼす環境負担を少なくすることを考え、古着や古布を譲渡したり、作り変えたりすることで環境保全活動を展開していました。その中で、特に資金や古着集め、買い出しや売り出し、リメイクに至るまでを自分たちで行っていたことが印象的であり、バザー活動を通して身近な社会貢献を達成できていたのは素晴らしいと思いました。環境負荷を減らす方法は色々あると思いますが、自分たちにできる取り組みを実際に行動に移し、地域の人々と関わりながら取り組んでいる点が意義深いと感じます。このような活動を広めていくことは、持続可能な社会の実現に近づいていくのではないかと思います。今後も、さらに多くの人に環境に配慮した実践の魅力を伝える活動を続けていってほしいと感じました。
- ・ 自分たちの身近な環境保全を考え、古着のバザー販売を通じて、循環型社会の実現に向けて具体的な行動を起こしていて素晴らしいと思いました。衣類の再利用は、資源の節約とごみの削減に大きく貢献すると改めて考えることができ、自分の消費行動を見直すきっかけになりました。これからも積極的に活動を続けていってください！
- ・ 古着に着目した後に、小学校5～6年生をターゲットにした後に、本当にそれでいいか、検討を重ねてから実行に移しているのが良いと思った。またバザーという手を使って、再利用を促すとともに、自分たちのしてきた活動についての解説などを行うことによって繊維についての理解を広げることができているのが良いと思った。
- ・ 私自身、昔来ていた服で、もう着なくなった服を捨ててしまうことが多くあったので、そのような服を作り替えて他の人たちに販売するのは、とても素晴らしいアイデアだと感じました。発表では、小規模の範囲で販売を行っていましたが、今後はもっと広い範囲で、いろんな人たちに販売できれば、もっと良い活動になるのではないかと感じました！
- ・ バザーで販売するという行動を起こせたことはとても素晴らしいことだと思います。また、活動によって繊維が及ぼす環境への影響をきちんと理解できたことを胸を張って言えることも素晴らしいです。問いの答えを発見するために、一生懸命活動に取り組んだことがとても伝わってきました。
- ・ 繊維が及ぼす環境負荷は考えたことがなかったので、勉強になりました。古着や古布を集めて作り替え、新たな形で誰かの手に渡すことは、廃棄される服や布が減り環境負荷を減らすことができるので素晴らしい活動だと思いました。また、作り替えた作品をバザーに出品し、そこで繊維が及ぼす環境負荷について知ってもらえたり、作品として大事にもらえるので一石二鳥だと思いました。これからも、皆さんができる身近な活動を見つけて実践して、環境保全に取り組んでほしいです。頑張ってください！
- ・ 目標や問いに対して言語化がハッキリできているチームだなという印象を受けました。ターゲット層について考えたり、企画運営についての着実な準備を行い行動に起こせている姿がとても良かったです。自分たちだけでなく周りも巻き込んで課題解決に向き合う姿をみて「この繊維チームに1度日本を任せてみたらどうなのだろう」と考えるほど衝撃を受けました。下準備をかなり頑張っていたためバザーでの完売も納得でした。環境負荷について、身近な問題を解決しながら改めて考えることでたくさんの学びがあったと思います。「3Rをするには」「みんなと協力しながら」「繊維の有効活用」など本当にたくさん考えることがあって大変だったとは思いますが、仲間や先生たちと支え合って、地域全体を巻き込んで達成したことそのものがとても素晴らしいものだったと思います。皆さんが中学1年生だということに驚きを隠せませんが、これからあと2年間をかけて皆さんがどう成長して同じ課題と向き合った時にどのような解決方法を思いつくのか、どのようなアクションを取るのかとても気になります。皆さんの活躍に期待をしています。頑張ってください！
- ・ 環境への悪影響を考えるうえで、リユースやリサイクルは重要なポイントになると感じた。バザーやフリーマーケットといったものは単に物と人をつないだり人と人をつなぐだけでなく、そういった観点から見れば環境にも良いものだという新しい視点を得ることができた。
- ・ プラスチックで様々な繊維を作ることができるようになって、海洋のマイクロプラスチック問題が発生した。自然の繊維を活用する難しさとプラスチックから安く大量に製造される繊維の便利さを比較して、自然の繊維の強みを生かせるような情報を発信してほしいと思う。
- ・ このグループでは他のグループとは違った方法が取られていて面白かった印象を持ちました。グループで問いをまとめるのではなく一人ひとりが抱いた問いをバザーで成果を出して、みんなに共有するという形はすごくいい形だと思います。どうしてもチームで発表しようとする誰かの疑問を消すことになってしまうからです。みんなの疑問が尊重されていることが素晴らしいと思いました。
- ・ 繊維というテーマからバザーでの販売へと繋がった、探求的な学びとしてとても素晴らしいものだったと思います。環境への負荷軽減について他の方法はあるのか、古着のリメイク活動を煮詰めていくのか、これからの目標をはっきりと定め、頑張っていってください。
- ・ 最初に小学生への譲渡が難しいと分かった際にそこで止まってしまうのではなく、柔軟に次の活動を考えることができた切り替えと、次の活動を実現させた行動力が素晴らしいと思いました。これからも行動力を生かして、発表でもおっしゃっていたようにここで止まることなく考え続けていってほしいと思いました。
- ・ 持続可能な社会の実現に向けて、繊維について何か取り組みをしようという考えは、自分はしたことが全くなかったので、とても新鮮で新しい視点だと感じた。自分の持続可能な社会の実現に向けての取り組みの新たな視点を得ることができてとても良かった。

- ・ 繊維が環境に与える影響を減らすための方法を考えることができていて良かったです。また、古着や古布をリメイクをしてから販売するということに興味があったこともあり、とても面白い発表でした。私もシャツやワンピースをリメイクしてエプロンを作ったことがあるのですが、古着の良さを生かしながら新しいものを作ることがとても難しかったので、バザーで販売できるだけのリメイク品を作成したことがすごいなと思いました。
- ・ 繊維の話題から持続可能な社会の実現に向けて考えられている点がよかったと思いました。限りある資源を大切にしながら持続可能な社会を目指していくために、繊維という観点に着目したこと、とても良いことではないでしょうか。その学んだことを糧に、実際にどう行動に移していくかを大切にしたいほうがいいと思います。
- ・ 繊維が及ぼす環境への影響について調べ、古着を回収し、回収した古着をリメイクしてまた使えるようにしていいと思いました。また、バザーで出店することで自分たちの取り組みを知ってもらおうという姿勢も良いと思いました。